

ふじみ野

No.71

R5.11.1 発行

埼玉県ふじみ野市議会

市議会だより

CONTENTS

市民の生活を守りながら
健全な財政運営を継続 2p

市民に身近な議会へ
議会報告会・意見交換会を開催します 10p

市政を問う！一般質問 19人が政策論議 11p



働く人シリーズ⑤0 コーヒーショップの店長さん

珈琲と接客を通じて、お客さんにひとときのごくろうぎを提供します。店内では心安らぐ音楽を聴きながら、珈琲をたしなめるようなサービスを心がけています。

(裏表紙に関連記事を掲載)

令和4年度 一般会計 決算の特徴

※万円未満四捨五入

歳入 … 増減した主なもの

市民税	令和4年度 84億24万円	対前年度比 5億3490万円増
固定資産税	令和4年度 70億3404万円	対前年度比 2億4866万円増
国庫支出金	令和4年度 97億1361万円	対前年度比 12億605万円減
市債	令和4年度 20億627万円	対前年度比 43億6006万円減

歳入 決算総額 464億1225万円

前年度対比 8.9%減 (45億3315万円)

歳出 決算総額 434億2621万円

前年度対比 10.3%減 (49億9619万円)

歳入歳出差引額 29億8605万円

実質収支額 27億4829万円

翌年度へ繰り越すべき財源 2億3776万円

歳出 … 増減した主なもの

人件費	令和4年度 57億999万円	対前年度比 3752万円増
扶助費	令和4年度 124億2062万円	対前年度比 14億5127万円減
公債費	令和4年度 44億5277万円	対前年度比 4億278万円増
普通建設事業費	令和4年度 28億293万円	対前年度比 33億9291万円減

※端数処理の結果、数値が一致しない部分があります。

意見書

全員賛成で可決

女性の権利を国際基準に

女子差別撤廃条約選択議定書の批准及び国内法の整備を求める意見書

日本は国連の女子差別撤廃条約を批准しているが、実効性を強化し問題を解決するための選択議定書をいまだ批准していない。よって、国に対し男女共同参画社会の実現に向け以下を要望する。

1. 女子差別撤廃条約選択議定書を早期に批准すること
2. 関連する国内法を整備すること

送付日：令和5年9月22日（主意抜粋）

令和4年度 一般会計 決算の認定

議案審議

本会議での質疑をまとめています。

令和5年第3回定例会

8/28

9/22



ふじみ野市

市民・都市常任委員会が福岡浄水場を視察

市民の生活を守りながら 健全な財政運営を継続

令和5年第3回定例会では、一般会計補正予算や令和4年度一般会計決算をはじめとした各会計決算が認定されました。また、市の中長期的な計画を定めた最上位

計画の後期7年間の基本計画など市長提議案22件全てが可決されました。さらに、議員提出議案の意見書1件が全会一致で可決され、関係省庁に送付されました。

コロナ禍でも 市税増収に

市税の増加要因は、
調定額で市税全体では令和4年度は令和3年度と比較して、約8億5300万円の増額となった。

現年課税分で、個人市民税は約4億500万円の増額となった。これは経済活動の回復による納税義務者の増加と土地等の譲渡による所得割の増加によるものである。法人市民税は約1億5200万円の増額となった。これは法人納

税義務者の増加と製造業に係る法人税割の増額によるものである。

また、固定資産税は約2億8300万円の増額で、土地区画整理地区の市街化区域編入による増収のほか、家屋の新築等による増収などの要因によるものである。同様の理由により、都市計画税も約4900万円の増額となった。

市税の収納率 県内40市で第1位に

税収確保に向けた取り組みは、
令和4年度における

市税の収納率は、過去最高の99・3%となった。県内の40市中第1位となり、適正な自主財源の確保につながったのである。

課税客体を把握するため、税務署、法務局等との情報共有や連携を図り、IT技術の活用、職員が現場確認を行うなど、多方面からアプローチを行った。

また、各種調査の情報に基づき、必要な人には申告を促し、適正な課税に努めている。

徴収については、納付資力がある滞納者には厳

正な滞納処分を行なっている。その一方で、納付資力のない滞納者には、法令に基づく滞納処分の執行停止を適用している。

国の新型コロナ 交付金の使い道

新型コロナ感染症対策の交付金を活用した事業実績は、
新型コロナ感染症の

影響や、電気料金等の物価高騰に対する様々な事業を実施した。主なものとして、消費活性化クーポン給付事業として約3億6400万円、水道料金・下水道使用

料の減免として約3億1400万円、GIGAスクール構想用のタブレット端末や周辺機器、ソフトウェア等の学習環境整備に約1億2500万円、コロナ禍で物価高騰に直面する障がい福祉・介護サービス事業所等への支援として約3400万円を計上したものである。

創生臨時交付金を約9億1600万円、小・中学校の感染対策や保育所のICT化に係る国庫補助金を約1900万円、保育施設等の光熱水費の高騰に対する支援に係る県補助金を約500万円を充当し、その他に一般財源を活用して事業を実施した。

◆議案に対する質疑

青 監 会 加藤 恵一 議員
公 明 党 川畑 京子 議員
日本共産党 塚越 洋一 議員
会派外の議員 民部 佳代 議員

子どもたちが 1人1台タブレットで学習

国際化・情報化教育推進事業

GIGAスクール構想実現のため、子どもたちにタブレット端末が貸与され、GIGAスクール推進主幹のもと学校現場での活用に取り組んでいます。



問 コロナ禍で学級・学年閉鎖がある中、タブレット端末の活用は。
答 学校からオンライン授業を生配信した。家庭学習はドリルソフトを活用し、取り組んだ。
問 不登校の児童生徒のオンライン授業は出席扱いになるのか。
答 出席扱いとなるよう積極的に認めている。
問 オンライン授業の課題は。
答 教員からの一方通行の授業になってしまっていることである。

今後は双方向で子どもからも発言できるような授業に変えていく必要があると考える。

わたしもひと言



(梅花さん) キーボード操作をするタイピングアプリが入っているので、1年間でブラインドタッチができました。先生が使っているデジタル教科書アプリが欲しいです。タブレットで図形の操作を見ていると、私も使ってみみたいです。

(亮太さん) 調べる学習で検索してたくさんのことを学べるのが楽しいです。コロナ禍の時に風邪をひいて学校を休みましたが、担任の先生とタブレットで連絡がとれて安心できました。

小学6年生 鎌形梅花さん 田中亮太さん

子どもの声が届くまちに

子ども・子育て支援対策事業

子どもの権利擁護と体力向上を2本柱としたふじみ野市子どもの未来を育む条例を制定し、記念のシンポジウムが開催されました。



問 シンポジウムの内容や参加者の声は。
答 令和4年4月に施行した子どもの権利に関する条例を記念して、ステラ・イーストでシンポジウムを開催した。132名が参加し、基調講演とパネルディスカッションの2部構成で行われ、地域代表で小・中学生6名が出席した。
参加者からは、子どもたちの夢や素直な意見が聞けて良かったなどの感想があり、アンケートでの満足度も86.4%と好評で終えることができた。

問 今後の構想は。
答 子どもの意見表明及び社会参加の支援などを行いながら、子どもたちの未来を市民全体で育んでいくことができればと考えている。

わたしもひと言



公園で遊ぶときのルールなどを決める条例の話は学校で聞きました。

学校がある日は習い事があり、あまり遊びに行けませんが、お休みの日は家族で伊佐沼やアスレチックのある公園に遊びに行っています。

近くにあったらいいなと思うものは、家族で楽しめるバーベキュー場や水遊びができる公園です。思いっきり遊べる公園がもっとあるといいと思います。

小学3年生 石倉怜汰さん

市内循環ワゴンをもっと便利に

交通政策推進事業

市内循環ワゴンは、令和5年4月1日から新たな運行ルートができました。また、既存のルートも停留所や便数が増え、より便利になりました。



問 市内循環ワゴン運行検討業務委託の実績は。
答 コースやダイヤを改善し、安全性や利便性、コスト等を総合的に調査分析して、交通ダイヤ案を提案した。
問 市内循環ワゴンの利用者数は。
答 令和4年度は8万6881人であった。

問 市と運行業者への負担金の関係は。
答 運行業者の経費総額から運賃収入を差し引いた額が負担金の額となる。

わたしもひと言



近いうちに市役所近くのマンションに引っ越してくるので、循環ワゴンがどのようなものかと時刻表を見ていました。もっと本数が多いとありがたいです。

ワゴンに乗ってみようかと思いましたが、次の便まで15分あるので駅まで歩こうかなと考えていました。でも、今お話をしていたら来たので、初めて乗ってみます。

市役所玄関前にて 大久保さん

児童発育・発達支援センターを公設化

児童発育・発達支援センター管理運営事業

発達に不安がある子どもと保護者への相談支援事業の充実を図るため、令和4年度から児童発育・発達支援センターが公設化されました。



問 公設化の効果は。
答 公設化で0歳から18歳まで対象を広げた。
効果としては、関係機関からの相談が増えた。小・中学生、さらには高校生の相談を受け、幅広く支援ができています。
問 実際の相談件数は。
答 令和4年度の総件数は675件となった。同じ人から何回も相談を受ける場合があり、実際には2倍、3倍の相談件数となる。
また巡回相談支援として、臨床心理士などが私立保育園及び幼稚園を

訪問し、施設職員を支援した。訪問した園は22カ所、年64回実施した。様子を見て助言した子どもは年間266人で、公設化前と比べ100人近く増えた。

わたしもひと言



こちらの施設にお世話になっています。よくやっていただいているので、子どもも落ち着いて生活でき本当にありがたいです。

こういう施設や総合相談窓口があることをたくさんの人に知ってもらい、悩んでいる保護者に伝わるのが大切だと思っています。

もともと介護施設を改装した施設なので、できれば園庭もある開放的な専用の施設があればいいなと思います。

ふじみ野市児童発育・発達支援センター ふじみんたんぽ園の利用者

令和5年度 一般会計補正予算(第4号)

全員賛成で可決



問 送迎バスに置き去り防止装置の設置が義務付けられ、対象施設に補助金を交付する。市内民間保育施設では8月末に装置を設置した。

答 装置はエンジン停止後にブザーが鳴り、車内を点検してスイッチを切る仕組み。その後センサーが稼働し、中に人がいると警報が鳴る。

問 児童発育・発達支援センターでの対応は。

答 まず、朝礼で運転手は同乗する保育士と、乗車予定の園児

概要は。

送迎バスの置き去り防止装置の設置義務化に伴い、民間保育園のバス7台と、市の児童発育・発達支援センターのバス3台分の補助金が予算化されました。

保育園バス置き去り事故を教訓に

幼児教育・保育施設運営支援事業ほか

を確認する。乗車時は園児が挨拶するときに確認している。降車時は保育士が一人ずつシートベルトを外し、降車したことを確認する。また運転手は送迎後、すぐに車内の確認と清掃を行う。

わたしも一言



人の目でチェックするのが基本です。同乗の保育士と運転手で手順を決めて確認しています。子どもたちも、万が一取り残されたときのために車内の緊急ボタンを押す練習をしています。

今まで事故はありませんでしたが、もし起こるとしたら担当が変わって慣れない人が同乗するときでしょうか。そのようなことのないよう、マニュアルを確認し、しっかりと引継ぎをしています。

民間保育園バス運行責任者 藤田 雄介さん



わたしも一言



ふじみ野市に越してきて3年半になります。2歳9か月と0歳の子育て中で、市報の子育て支援のページを良く見て利用しています。親子で楽しめる場がたくさんあって、ふじみ野市は子育て支援が充実していると思います。

コロナ禍での出産だったのですが、子育て支援センターが開いていて、子育ての悩みも相談しやすく、歩いて行ける範囲に親子で集える場があって本当にありがたかったです。

上野台子育て支援センター利用者 吉野直子さんと2人のお子さん、所長の細田春恵さん

事業内容は。

令和5年4月1日以降の出生から2歳の誕生日までの乳幼児を対象としている。

上野台、大井子育て支援センターに來所してもらい、子育てコンシェルジュ事業を説明し、子ども一人当たり50000円の給付金を申請してもらおう。

また、必要に応じて保健センターなど関係機関につなぎ、伴走型支援の強化を図る。

伴走型子育て支援の充実

子ども・子育て支援対策事業

はじめて子育てコンシェルジュ事業では、切れ目のない支援を行うため、初めて子育て支援センターに來所した子育て世帯に対して給付金を支給します。

令和4年度 一般会計 決算討論

賛成多数で認定

賛成 市民生活支援と安定的財政運営の両立を評価 青藍会 板倉篤 議員

決算規模は縮小したが、歳入では経済活動の回復傾向を反映して市民税は個人・法人ともに増収した。実質収支額は27億円の黒字であったことを確認した。市税の収納率は年々向上を続けており、令和4年度は99.3%と埼玉県40市中1位となったことは高く評価する。

物価高騰が続くが、今後も必要な事業を適時行うために、基金の適正な管理運用をはじめ長期的視点に立った安定的な市政運営をお願いする。

賛成 自主財源確保への取り組みを評価 公明党 古越孝子 議員

自主財源の根幹となる市税では、効率かつ効果的に徴収を進め、収納率が過去最高の99.3%となり、埼玉県内の40市の中で第1位となった。市の税財源確保への取り組みを評価する。

市民生活や地域経済を支援するため適切な事業運営が行われ、福祉行政は市民のニーズに応えられるよう重層的支援体制整備事業が本格実施となった。持続可能な安定した財政運営の推進を今後も期待し賛成とする。

反対 市独自政策に黒字財源を生かせ 日本共産党 塚越洋一 議員

コロナ対応の施策などの政策展開は、国の定めた財源枠と政策の範囲にとどまり、市民のいのちと暮らし・営業を守るという視点からは不十分な決算である。

実質収支額27億円の黒字、30億円近い不用額、190億円もの各種基金などの財源をもっと有効に活用すべき。学校給食費の無償化、子育て支援政策や高齢者・障がい者福祉、地域経済対策など積極的な政策展開を求める。

賛成 弾力ある財政運営を今後を生かせ 会派外の議員 民部佳代 議員

経済活動の回復による市民税の増など市税収入は増加し、弾力のある財政運営に向けて改善が図られている。

新型コロナウイルス地方創生臨時交付金は物価高騰に対する対応だけでなく、放課後児童クラブのトイレの洋式化など後に残る形で活用できた。

文化芸術企画提案型事業は、単年度事業ではなく見直しを。児童発育・発達支援センターは公営化で相談も増えた。手狭で療育できる人数に限りがあるので、今後に向けて検討を期待する。

賛成 高い意識を次世代への継承に期待 会派外の議員 金濱高頭 議員

歳入は前年度決算と比較して減少したが、市の基礎となる市税については増加となった。また、市税の収納率は県内1位となる99.3%となったことを極めて高く評価する。今後は職員一人ひとりが持つ高い意識を次世代の職員へも継承させてほしい。

歳出は市民が参加する事業についてフィードバックを受ける部分に伸びしろがある。事業とは参加した市民の声で成長をしていくので取り組みをお願いしたい。

令和5年第3回定例会の提出議案等と審議結果

●全会一致で可決した議案

議案番号	議案名	議決結果	議案番号	議案名	議決結果
第61号議案	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度ふじみ野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号))	承認	第72号議案	ふじみ野市最上位計画審議会条例等の一部を改正する等の条例	可決
第62号議案	令和5年度ふじみ野市一般会計補正予算(第4号)	可決	第73号議案	ふじみ野市立上福岡図書館大規模改修工事請負契約の締結について	可決
第63号議案	令和5年度ふじみ野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	第74号議案	ふじみ野市文化施設整備事業建設工事請負変更契約の締結について	可決
第64号議案	令和5年度ふじみ野市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	第75号議案	ふじみ野市立鶴ヶ丘小学校校舎大規模改修工事請負変更契約の締結について	可決
第65号議案	令和5年度ふじみ野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決	第76号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第67号議案	令和4年度ふじみ野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	第77号議案	公平委員会委員の選任について	同意
第68号議案	令和4年度ふじみ野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	第79号議案	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
第70号議案	令和4年度ふじみ野市水道事業会計決算の認定について	認定	第80号議案	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
第71号議案	令和4年度ふじみ野市下水道事業会計決算の認定について	認定	議第2号議案	女子差別撤廃条約選択議定書の批准及び国内法の整備を求める意見書	可決

●賛否が分かれた議案

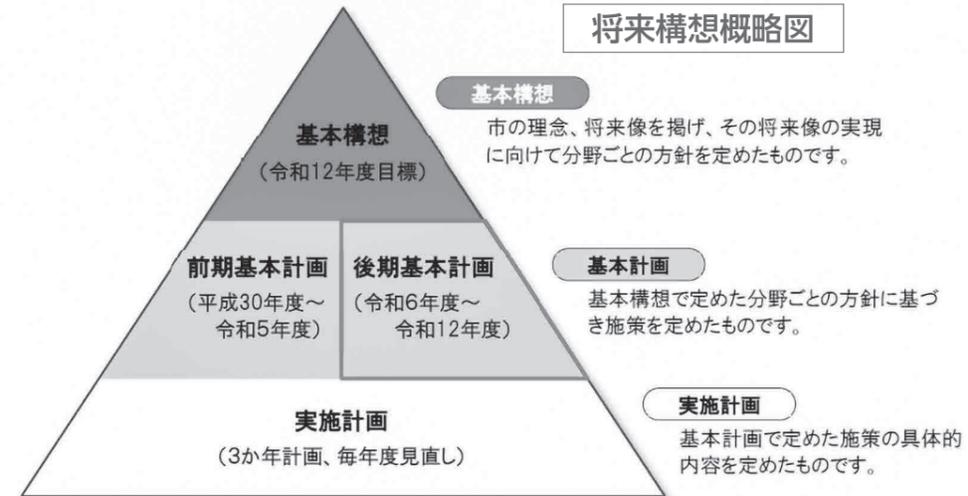
○：賛成 ×：反対

議案番号	議案名	議決結果	青藍会					公明党			日本共産党			会派に属さない		会派に属さない		会派に属さない				
			川島秀男	前田広子	鈴木宏樹	板倉篤	原田雄一	加藤恵一	小林憲人	山田敏夫	古越孝子	鈴木美恵	川畑京子	島田和泉	足立志津子	田中早苗	床井紀範	塚越洋一	金濱高顕	坪田敏孝	鈴木啓太郎	近藤善則
第66号議案	令和4年度ふじみ野市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
第69号議案	令和4年度ふじみ野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
第78号議案	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
第81号議案	総合的な最上位計画の後期基本計画を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
第82号議案	令和5年度ふじみ野市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

※議長は採決に加わっていません。

最上位計画審査特別委員会

ふじみ野市将来構想は、令和12年度までの長期的な「基本構想」に基づいており、今議会において、令和6年度から令和12年度までの後期7年間の「基本計画」が提案されました。最上位計画審査特別委員会を設置し、社会の変化を反映した市の将来について審議しました。採決の結果、賛成多数で可決しました。



賛成多数で可決

最上位計画審査

後期基本計画について問いました

●後期重点プロジェクトの前期からの大きな変更点は

子ども政策を総合的に推進していくため、前期基本計画の子育てするならふじみ野市プロジェクトと次代を担う子どもを育てるプロジェクトを統合し、子育てするならふじみ野市・こどもの未来を育てるプロジェクトとしました。

また、前期の元気・健康づくりプロジェクトに生きがい、文化、スポーツの施策を併せ、いきいき“元気・健康”プロジェクトへと変更するなど6つを重点プロジェクトとして策定しました。

●SDGsと後期基本計画の各施策との関係性は

ふじみ野市SDGs推進方針に基づき、後期基本計画では各施策ごとに対応するSDGsの17のゴールを記載しました。

これは、施策中の取り組みとSDGs達成に向けた具体的な行動を定めた169のターゲットとの関連性を表したもので、SDGsの理念に沿って取り組みを進めることで政策全体の最適化、地域課題解決の加速化といった相乗効果を期待するものです。

●新たな視点や市民意識調査結果の反映は

ふじみ野市ゼロカーボンシティ宣言を踏まえた脱炭素社会の推進や、電子申請の活用による行政手続きのオンライン化といった自治体DX推進も重点的な取り組みに盛り込まれました。

また、市民意識調査によると市の取り組みの認知度が低いこと、市のサービスや取り組みについて情報発信の強化を求める意見があったことから、市のこと知って使ってプロジェクトが新規重点プロジェクトとして加わりました。

●市民等への周知はどのようにするのか

将来構想実現のためには、市民、団体、事業者等がそれぞれの役割を認め合い、目的を共有しながら連携していくことが必要となります。

周知は市報での概要掲載、図書館等への配架に加え、ホームページに掲載する予定です。

また、子どもたちに市の状況を知ってもらい、その取り組みを身近に感じてもらえるように子ども版の作成についても予定しています。

市政を問う!

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、19人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。(11月下旬掲載予定)



デジタル技術のフリースペースではメンターとの交流も

問 日本の子どものパソコン保有率は3割と、欧米に比べ極めて低い。デジタル化の遅れ、経済低迷の要因と考える。子どもがデジタル技術を学び、利用できるフリースペースの開設の考えは。

答 居場所としての有効性や可能性を広げる機会と認識している。他市の事業展開を注視したい。

問 65歳以上の住民税非課税世帯の人への補聴器購入助成の考えは。

答 助成を県内で実施している自治体があるが、多くは今年度開始しており、効果を研究したい。

軽・中等度難聴者への支援

問 不妊治療助成や子育てコンシェルジュなどの支援策を行っている。

問 本市の合計特殊出生率は近年、下降している。出生率に関する指標を活用した対策は。

答 出生順位別合計特殊出生率は、本市は第2子まで国平均を上回り、第3子以降は下回っている。令和2年の有配偶出生率は、本市は63・5%、国平均は70・3%である。

少子化対策

問 今後の課題は、地域商店の人が高齢化する中、掲出する意欲はあるが、竹を運ぶ作業が難しく掲出数が減少することも考えられる。

問 竹飾りの状況と今後の課題は。

答 今年度は4年ぶりの開催であり、より多く飾れるように助成金を2倍にし、合計231本の掲出ができた。



竹飾り設置に奮闘中

問 今回のワークショップの意見を受けて、庁内の関係課長会議で議論し、公園でのボール遊び実現に向けて取り組みを進めたい。

問 取組みの状況と今後のスケジュールは。

答 子どもが、身近に遊ぶことができる公園でのボール遊びをテーマに7月に「福岡中央公園でのボール遊びを考えるワークショップ」を開催した。ワークショップでは、子どもと大人が同じ立ち位置で、ボール遊びに関する問題点や実施方法などを考え、議論し、取りまとめた上で発表を行った。

問 取組みの状況と今後のスケジュールは。

答 子どもが、身近に遊ぶことができる公園でのボール遊びをテーマに7月に「福岡中央公園でのボール遊びを考えるワークショップ」を開催した。ワークショップでは、



プログラミングなどのフリースペースの開設
坪田 敏孝 議員



上福岡七夕まつりの竹飾り
加藤 恵一 議員

市民に身近な議会へ 議会報告会・意見交換会を開催します

ふじみ野市議会では4年振りに対面での議会報告会・意見交換会を開催します。

市議会では令和5年度の議会報告会及び意見交換会を各常任委員会で実施します。事前の申し込みは不要ですので、お気軽にご参加ください。当日は手話通訳もあります。日時・場所、内容等は以下の通りです。



総務・教育常任委員会

日時：11月5日(日)
午前10時～

場所：市役所本庁舎5階
第1委員会室

内容

- 9月定例会の報告
- 防犯・防災についての意見交換

生活・福祉常任委員会

日時：11月5日(日)
午後2時～

場所：市役所本庁舎5階
第1委員会室

内容

- 9月定例会の報告
- 住み続けたいくなる福祉のまちについての意見交換

市民・都市常任委員会

日時：11月12日(日)
午後2時～

場所：市役所本庁舎5階
第1委員会室

内容

- 9月定例会の報告
- 市内の公共交通についての意見交換

連載企画 事業者へ聞く

だれもが安心して暮らせる社会づくりに貢献

火災報知システムを製造する工場経営者に話を伺いました。



みかみ ときき 三上 俊樹さん

- Q** どのような製品を手掛けていますか。
- A** 火災報知器の受信機や周辺機器製造に加え、報知システムの設計・製造・国家検定まで行っています。
- Q** 自社の強みだと考える点は。
- A** 取り扱うのは多品種少量、オーダーメイド製品がほとんどです。システム全体を

一括して請け負うことで顧客の手間と時間の削減に貢献するという考えです。

おかげで在庫リスクが小さく済んでいます。また日本でうちしか作っていない製品も3つほど手掛けています。

Q ものづくりにあたってのポリシーは。

A 受注生産の世界では顧客からの要望だけでは通用しません。オーダーの一步先、想像し得なかったびっくり箱のようなワクワクするものを提案していくことを心掛けています。

Q 市民へのメッセージをお願いします。

A 日々安心して眠れるのは住宅用の火災警報器があるからだと思います。年に1度くらいその存在を意識してあげて、点検・掃除をしてほしいと思います。





高校生まで
こども医療費の拡大を
民部 佳代 議員

問 県内のこども医療費の状況は。

答 63市町村のうち、18歳の年度末まで入院・通院を助成しているのは33自治体で、入院のみは9自治体である。15歳の年度末までは本市を含め21自治体である。

問 本市も18歳まで拡大できないか。

答 助成年齢を拡大すると約7400万円の支出増となる見込みである。県の補助は未就学児までだが、知事も子ども医療費拡大の必要性を発言している。市も財源確保に向けて精査していきたい。

問 保護者への啓発は。

答 全中学校で産婦人科医による性教育等を行っており、保護者にも参加を促したい。

問 必要に応じて産婦人科の受診を促すように今後の体制について検討したい。

答 保護者への啓発は。全中学校で産婦人科医による性教育等を行っており、保護者にも参加を促したい。

小・中学生の生理痛への対応

問 思春期の月経困難症は学業や部活動などで実力を発揮できないばかりか、放



高校生の受診控えを防げ

問 公共施設屋上等の活用事例と効果は。

答 太陽光発電は5カ所ある。そのうち市役所本庁舎、なの花学校給食センターでは各々7tと6tのCO2排出量削減になった。今後設置拡大に向けた調査も行う。

問 屋根緑化は14カ所に設置しており、約4%程の省エネ効果に加えて、建物そのものの保護効果にも期待する。

問 芋緑化導入の検討は。

答 室外機周囲に芋の葉



もっと緑の活用を

を繁茂させ温度を下げる芋緑化は夏場には最大10%の省エネ効果が見込まれる有効な取り組みだが、設備面等解消すべき問題も多いと考える。

地域農業の振興を

問 農政窓口を大井総合支所にも開設しては。

答 利便性は認めるが、手続きが一度で完結せず再度来庁が必要になる可能性もある。担当職員にも広範な知識や経験が求められることから、窓口の複数設置は難しい。

市政への市民参加の推進に向けて

問 期日前投票の実績の評価は。

答 低投票率の中でも期日前投票率は増え続けており、投票率向上に有効な手段と認識している。

問 早い段階から来年の第70回を協議していくことはできないか。

答 今回、再開記念事業で芸人ライブ、ヒーローショー、スタンプラリーなどの事業を行った。来年の第70回も今年度と同様、実行委員会から意見を聞き、催事部会で内容を検討しながら決定していく。

福岡中央公園に
ドッグランを
前田 広子 議員

問 犬を飼育している人が増えていることもあり、福岡中央公園などの一角にドッグランを設けられないかとの市民の声もあるが市の見解は。

答 ふじみ野市・三芳町環境センター内防災調整池にドッグランが一カ所あり利用されている。現在新たな設置の予定はないが、今後ペットの散歩の場や遊び場について検討していきたい。

学校の相談体制

問 スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの現状や児童生徒へのケアの強化は。

答 関係機関とも連携を図りながら児童生徒等の多様なニーズに応じた支援をしている。

学校連絡のDX化

問 小・中学校からの連絡等のオンライン化の現状は。

答 現在19校のうち、16校が連絡アプリなどを活用している。学校と家庭の連絡方法のオンライン化を引き続き支援する。



身近な場所にドッグランを

防犯グッズの
購入費補助

問 家庭向け防犯カメラ、防犯グッズ購入費の

今後の上福岡七夕まつり
鈴木 宏樹 議員

問 準備を進めていく。

道路の点検状況

問 通学路の点検時期は。

答 平成14年度以降おおむね5年に1度、県内小中高・幼稚園の保護者や学校関係者で通学路安全総点検を実施している。

問 道路の維持管理を目的とした点検は。

答 道路舗装や防護柵等の道路附属物も職員が毎年4月、7月、12月に道路施設等安全点検を実施している。



消えかかった路面表示

問 日常的にも外出時に異常がないか確認し、破損等の情報提供があった場合には早急に現場確認を行い、必要な対応を実施している。

脱炭素社会実現に向けて
板倉 篤 議員

問 熱中症予防の普及啓発・注意喚起の現状は。

答 市報や市ホームページにおいて周知・啓発を行っている。特に体温調節機能が十分でない乳幼児や高齢者へは、地域健康教育や子育てサロンなどで保健師等が直接予防啓発を行っている。

問 県内に熱中症警戒アラートが発令され、かつ、観測地点のさいたま市の暑さ指数が33以上になると予測された場合

問 登下校時の熱中症対策として日傘の使用の現状と取り組みは。

答 学校だよりや保護者メール等で登下校時の日傘使用のメリットについて情報発信している。

問 暑さ対策での「置き勉」の考えは。

答 「置き勉」を実施して荷物の軽量化を図り、児童の健康面と安全を最優先に考え熱中症事故を防止する。

熱中症対策
古越 孝子 議員

問 熱中症予防の普及啓発・注意喚起の現状は。

答 市報や市ホームページにおいて周知・啓発を行っている。特に体温調節機能が十分でない乳幼児や高齢者へは、地域健康教育や子育てサロンなどで保健師等が直接予防啓発を行っている。

問 県内に熱中症警戒アラートが発令され、かつ、観測地点のさいたま市の暑さ指数が33以上になると予測された場合

問 登下校時の熱中症対策として日傘の使用の現状と取り組みは。

答 学校だよりや保護者メール等で登下校時の日傘使用のメリットについて情報発信している。

問 暑さ対策での「置き勉」の考えは。

答 「置き勉」を実施して荷物の軽量化を図り、児童の健康面と安全を最優先に考え熱中症事故を防止する。

男性へのHPVワクチン
接種の補助を
川畑 京子 議員



男性の接種でがんや感染症を防げ

所有者不明土地の対策

問 実態把握の現状は。

答 管理が不適切な空き家のうち、所有者の死亡により相続人がいない空き家等及び相続人全員が相続放棄をした空き家等は、令和5年7月末現在でおよそ10戸である。

問 固定資産税徴収の現状と対策は。

答 現状、所有者不明土地として認識している土地は約25件あり、具体的な対策として、地方税法343条第5項の規定による「使用者課税」の適用の検討や、民法第952条に基づく「相続財産清算人の選任の申し立て」の2点が有効と考

問 男性もHPVワクチン接種をすることで、自身の感染予防に加え、パートナーへの感染防止が期待できる。対象となる年齢を調整し、男性へのHPVワクチン接種費用に対する助成はできないか。

問 現在、国においては、男性に対しての定期予防接種の是非について検討することになっている。市としては、国の議論を注視し、近隣自治体の状況を踏まえ、調査・研究に努める。



小・中学生への性の多様性教育は慎重に

川島 秀男 議員

問 小・中学校において、性に対して理解が確立していない児童生徒への性の多様性教育は慎重にあるべきだと思いが、教育委員会の見解は。

答 教育委員会は児童生徒が性に関する正しい知識を身に付けるとともに、一人ひとりの個性や多様性を認め、尊重し理解を深めていくことができるよう各学校において指導していくことが大切であると考え

同時にLGB TQに対して配慮しつつ、女性が女性として男性が男性として安心できる場所があることも大切であると考え

問 新たな文化施設の整備が進んでいるが、今後の文化事業をどのように考えているか。

答 本市の文化振興の推進に当たっては、今年4月に発足した市文化協会、指定管理者、本市の3者が協力、連携をして事業展開することが大変重要であると認識している。

文化事業の発展に

問 現状と今後は。

答 現状と今後は、市内では被害が確認されていないが、市ホームページ等で注意喚起をしている。



ふじみ野市に新たな文化が花開く



資材置場等への設置規制

金濱 高頭 議員



外部の目が届かない資材置き場

問 他市では敷地に鉄の板などで囲いをし、通称ヤードと呼ばれる資材置場等から騒音や悪臭、火災などが発生し問題となっている。設置規制が必要ではないか。

答 関係機関を交え、現地調査などを行い適切に指導している。

クラウドファンディングの活用

問 福岡河岸記念館等の文化財保全のために活用できないか。

答 今後大規模な修繕が必要となる場合などに、財源確保の手段の一つとして考えられるので担当部署と連携し研究していく。

イルミネーションの設置

問 上福岡駅西口・東口にイルミネーションを設置できないか。

答 設置により様々な効果が期待できると考えるが、危機管理面を考慮し検討していく必要があると考える。



問 高額ピアノ購入選定の経緯は。

答 本格的な舞台芸術鑑賞や市民が気軽に楽しむため、専門家の意見を伺った。ステラ・ウエストにはスタインウェイD1274が約3900万円、ヤマハCFX約2800万円、イーストにはファツィオリF278を約2800万円での購入を見込む。

介護事業の充実で県内1位に

問 市の介護保険の運用が高い評価を受けているが。

答 交付金の評価で県内で1位、全国でも35位と高評価を受けている。



ホール事業で総額9500万円のピアノを購入

鈴木 啓太郎 議員

問 活用のプラン、維持管理の方法及び費用は。

答 本格的なコンサート鑑賞機会、小中高等学校大学の音楽発表のほか、市民が本格的なコンサートピアノに触れる機会を作る。

維持管理には両ホールに温度や湿度管理ができるピアノ庫を設置する。定期的な保守と調律はホールを管理する特別目的の会社が負担する。



新河岸川の緑地帯の緑の保存と再生を

山田 敏夫 議員

問 ナラ枯れによる倒木やシユロの木などが繁茂して荒れた状態である。緑地帯を徹底的に整備して再生しては。

答 これまで以上に日常の管理を強化していく。また、樹木診断などを実施して緑豊かな自然林を後世に残していくように努力していきたい。

市内の街路樹

問 現状と今後は。

答 最近、ムクドリが街路樹に集団で群がり、騒音やフンなどの問題が発生している。解決のために適切な剪定や清掃を実施する。街路樹の維持管理は、埼玉県街路樹マネジメント方針及び街路樹剪定マニュアルを基本とした維持管理を実施していく。

外来種から桜を守るためには

問 桜木を特定外来生物に指定されているクビアカツヤカミキリから守るためには。



桜の大敵

問 児童生徒の居場所としての役割は。

答 心の居場所としての役割を認識している。全



居心地の良い学校図書館

小・中学校図書館の役割

問 近年の利用実績はないが、今後はヒアリングに努め、難聴者が講演会や会議等に参加しやすい環境づくりを進める。

障がい者・高齢者に優しいまちづくり

問 聴こえを補助するヒアリンググループの設置は。

答 近年の利用実績はないが、今後はヒアリンググループの周知啓発と利用に努め、難聴者が講演会や会議等に参加しやすい環境づくりを進める。

障がい者サポートの運動は。

障がいのある人への理解を深めるため、ユニバーサルマナー検定などの機会を設けている。また「はじめての手話体験講座」も年1回実施している。



子どもの読書活動の推進

鈴木 美恵 議員

問 ビブリオバトルの今後の展開は。

答 令和3年度は福岡小学校の5年生、令和4年度は駒西小学校とさぎの森小学校の両校の5年生をオンラインでつなぎ、実施した。今後も教育的効果を周知し、学校との協働による取り組みを充実していく。

防災ラジオの配付を

問 防災ラジオの配付を避難情報の徹底を。

問 防災ラジオの導入には、受信状況の安定化や周波数帯の変更が高額な費用がかかるため、配付が困難と考える。今後情報発信の多重化を図っていく。

問 排出区域の計画と現状の差異による課題は。

答 関越自動車道西側の3つの調整池が機能している。しかし、部分的な道路冠水が発生していることから、市としては県への要望を継続していく。

問 休耕地に緑肥作物の導入で土ぼこり対策ができるか。

答 緑肥風食防止対策として、毎年、麦の種子を農家及び営農団体に配布している。



県道狭山・ふじみ野線の雨水流出抑制

田中 早苗 議員

問 落ち葉堆肥農法の活用で土ぼこり対策は。

答 落ち葉堆肥農法の活用で土ぼこり対策は。



世界農業遺産に登録された落ち葉堆肥農法の武蔵野地域

※ビブリオバトル おすすめの本を持ち寄り、5分程度の決められた時間の中で本を紹介し、一番読みたくなった本を参加者の投票で決定する書評ゲーム



学習・進学における財政支援

足立 志津子 議員

平成29年度まで実施していた奨学金・入学準備金貸付制度の復活を。現状では考えていない。相談があれば、国の高等教育の修学支援新制度等を案内する。

水泳授業の在り方

命を守るための知識・技術の獲得を。小・中学校では実技指導を通じて水難事故の危険性等を指導している。

着水泳の実施を。実施している。

介護保険料の引き下げを

応能負担の原則に立ち、介護保険料多段階化をさらに推進すべき。市の見解は。

これまでと同様に被保険者の負担能力に応じた保険料を設定すること



FICEC 国際子どもクラブ

外国ルーツの子どもへの日本語学習支援

現状は。市の日本語適応指導員、県の日本語指導加配教員を配置し、学校外では公民館やNPOの日本語教室などを開設している。また、日本語ボランティアスタッフの養成もしている。



低空飛行する自衛隊輸送機

低空飛行問題は

塚越 洋一 議員

健康保険証廃止した場合の市の対応

資格確認書の申請ができない重度障がい者や高齢者などのケースは。市が職権で交付する。

事務の煩雑化による事務量の増大と財源及び職員への影響は。まだ具体的な検証は行ってない。

障がい者入所施設の市内への設置促進を

入所の現状と今後の見通しは。現在、69人が入所している。待機者は現在15人だが、増える見通しがある。

社会福祉法人等による市内への施設建設に対する財政支援は。国・県の補助金申請を支援していく。



児童生徒に豊かな学びの場を

小林 憲人 議員

福祉と司法の連携強化を

通級指導教室において、教員不足が顕在化してきている。対応を。長期的な視点で計画的に育成、配置ができるよう県と協議を進めていく。



歩いて元気健康の推進を

本市や各市町で、歩くことでポイントが貯まる制度が始めている。近隣の連携や情報交換を。

現時点で、計画はない。有効であれば検討していきたい。

花火のできる場所の確保を

東京23区内の公園であっても、手持ち花火ができる場所がある。花火のできる場所の確保やルールづくりを。

公園、緑地、緑道等、市が保有している場所での花火は禁止となっている。本市内で花火をするにはどうしたらよいか、調査研究をしていく。



多様性を応援

同性カップルの親属関係を公的に認証する制度の導入を検討すべき。市の見解は。

県内のファミリーシップの導入自治体は5月1日現在で26市町である。県内のパートナーシップの交付実績は218組であるが、ファミリーシップの交付実績は1組である。

パートナーシップ制度の理解や啓発を促進する。その上で、ファミリーシップ制度を研究する。



パートナーシップ・ファミリーシップ制度の導入を

床井 紀範 議員

市内の老朽化したマンションの対応

総戸数、総世帯、総人口における共同住宅の持ち家の割合は。共同住宅の持ち家の割合は約25%である。また、総世帯と総人口における共同住宅の持ち家の割合は、約15%である。

マンション管理組合の実態把握は。アンケートを実施した。今後はアンケートをまとめ、連絡体制等を構築する。

相談・支援体制は。市は毎月第2火曜日に、県マンション管理士会と連携し、マンション管理の相談会を実施している。

また、県マンション居住支援ネットワークに参加し、必要な情報提供を行っている。



高齢者、障がい者に優しい上福岡駅前整備を

近藤 善則 議員

すでに東上線沿線では、新河岸駅、鶴ヶ島駅、坂戸駅に、駅前トイレが設置されている。上福岡駅前東西口に高齢者、障がい者が使いやすい多目的トイレもある公衆トイレが必要ではないか。その設置場所として、東口階段下と西口の市管理地はどうか。

開かずの踏切の解消は

上福岡駅南側の開かずの踏切の解消方法は。沿線市町の首長で構成する東武東上線改善対策協議会において、東武鉄道に要望活動し、連続立体化についても毎年要望している。



近隣で新設された多目的トイレ

議会運営委員会「議会活動の活性化」を調査

視察報告

議会運営委員会で「議会活動の活性化」を所管事務調査として、8月2日及び3日の日程で、富山県氷見市議会及び射水市議会を視察しました。

氷見市議会では、全国的にも珍しい議会監視・監査機能の充実に向けた基本条例や、オンライン委員会やICTを活用した議会活動などを確認した。次に射水市議会では、県立高校での議会報告会を予定するなど、特色ある議会報告会を開催している。また、議場での新しい採決システムなど、参考になる方策が多くあった。

意見交換も活発に行うことができ、議会活動の活性化につながる有意義な調査となった。



氷見市議会を視察

編集委員がインタビュー!

表紙：働く人シリーズに寄せて

コーヒーショップの店長さんに伺いました

Q 仕事を始めたきっかけは。

A 全国チェーンの営業本部長として店舗運営のマネジメントをしていましたが、お客さんとの接点を持ちたいとの原点に立ち返り、会社の反対を押し切って仕事を退職しました。

全国を飛び回る中で培われた人脈などを生かし、個人事業主としてコーヒーショップの経営を始めました。

Q 仕事での楽しいことや大変なことは。

A お客さんとの接点の拡大が一番楽しいです。サービスの提供を通じてお客さんとお付き合いできるのが仕事の魅力です。

お客さんの8割が常連客です。高齢のお客さんも多いです。困ったことがあったときは、親身に相談にも乗っています。

また、大変なことは一日中立ち仕事なので足腰が疲れることです。体力勝負です。

Q 市に一言お願いします。

A ふじみ野市は産業振興課と商工会のバックアップ体制が整っています。

プレミアム商品券や消費活性化クーポンなど地元の産業振興に貢献していると思います。商工会の福バル事業は、他の市・町と比較しても充実しています。今後もぜひ産業振興施策の充実を期待しています。



くどう よしひろ
工藤 嘉浩 さん

市議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。市議会の会議録も見られます。録画放映やSNSもご覧ください。

ふじみ野市議会

検索



9月定例会の傍聴者は41人でした。

次の定例会の
開会予定：11月29日 午前9:30～

市役所4階議場で開催します

請願締切予定：11月17日 午前10:00

議会広報常任委員会

委員長	鈴木 美恵	副委員長	床井 紀範
委員	古越 孝子	委員	川島 秀男
委員	板倉 篤	委員	田中 早苗
委員	民部 佳代		

表紙の題字を書いてくれた人

えはら ゆうか
福岡中学校3年 江原 悠華さん

ふじみ野



ふじみ野市は、利便性が良い施設が多く、とても過ごしやすい町です。今年は行事も再開し、活気であふれています。私も地域の活動などに参加し、様々な経験をしていきたいです。

編集後記

新型コロナウイルスが5類相当になったことにより、今年の夏は4年振りに開催された上福岡七夕まつりやおおい祭りがとても賑わいを見せました。しかし、これからの季節は新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行も懸念されます。引き続き一人ひとりの感染防止対策が求められます。

さて、平安時代中期の女流歌人で有名な清少納言が綴った「枕草子」では「秋は夕暮」と書かれています。青く広がった空に、黄色やオレンジ色、赤色、紫色などが合わさった夕方の空はなんとも表現しがたい美しさがあります。11月には文化施設と図書館が一体となったふじみ野ステラ・ウェストがオープンします。ふじみ野の文化・芸術の秋を一緒に満喫しませんか。

(床井 紀範)

市議会議員による時候のあいさつ状、寄附行為等は、法律で禁止されています。ご理解をお願いします。